西東京市市民協働推進センター

平成 27 年度第 10 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 28 年 2 月 16 日(火)午後 7 時 00 分～9 時 00 分
■開催場所：イングビル 3 階第 3、4 会議室
■出席委員：池田委員、小松委員、紺野委員、佐藤(文)委員、佐藤(留)委員、田中(友)委員、田中(紀)委員、谷委員、富沢委員、中村委員、藤江委員＜以上 11 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、佐藤副センター長、丸木福祉活動推進課長、石井地域福祉推進係長、塚澤主事

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、1 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委　員：NPO 市民フェスティバルのことだが、来年についてはどのように考えているのか。

事務局：好評だったので、会場は同じアスタセンターコートで、時期は同時期か少し暖かくなった時期にするかと考えている。

委　員：子ども関連のフェスティバルと日にちが重なっていたと思うが、何か意見をいただいていないか。

事務局：子ども文化フェスティバルのことかと思うが、NPO 市民フェスティバルの初日に展示で参加し翌日子ども文化フェスティバルに同じ物を展示していたようで、特に何も言われていない。

委　員：相談記録で企画の会場に病院を紹介しているが、使用するのに条件はないか。

事務局：条件については、病院との調整と聞いている。

委　員：地元を盛り上げたいという方との相談にのっているが、その後はどうなったのか。

事務局：ゆめこらぼの企画等を紹介して、それに参加したりしている状況である。

委　員：NPO 市民フェスティバルの一般参加者へのアンケートについてだが、市民活動に興味をもっていただいた方が大勢いるが、年齢的な内訳はどうなっているか。

事務局：興味についてのクロス集計はできていないが、市民活動に興味はあるが参加するかはわからないという回答が半数を占めた。全体では、40 歳代・50 歳代がそれぞれ 13%、60 歳代 18%、70 歳代 39%の方にアンケートに回答いただいた結果である。

副委員長：今回、2 日間開催したが、例年に比べてマンパワーや費用はどうだったか。

事務局：実行委員の方の感想では、2 日間が限界で 3 日間以上は無理だろうという話だった。ただ、40 団体程度は展示参加するので、1 日では無理で 2 日間は必要だと思う。2 日間にわたって行ったので、初日の終了後の夜間に見学している人もいた。オープンな所でのパフォーマンスを行ったことにより集客に有効であった。費用に関しては昨年と同様である。

委　員：去年は意識がある人、今年は一般の人も訪れたように思う。参加団体にとっても展示内容を少なめにして負担も減らすことができた。これで十分だった。来年も今回同様で良い。

副委員長：開催場所であるアスタ側の反応はどうだったか。

事務局：集客効果があったと喜んでおられたと聞いている。

委　員：一般の人が来てくれたことで大変良かったと思う。展示も簡便にしたが、かえって良かった。来年もアスタが良い。
委　員：実行委員の立場としても、以前の労力の5分の1くらいで済んだ。設営も1時間程度で終わったので良かった。
委　員：団体側は15分くらいで展示の準備を終えることができた。
事務局：前回の会場では、展示パネルが大きく、その設営が大変だった。当日の労力作業は減ったが、事務調整作業は前年と比べて事務量がかなり増えたと認識している。
副委員長：好評であった為、来年も今回の会場を前提に検討していって欲しい。

2. 2月以降の事業について
事務局より、2月以降の実施事業について説明があった。
委　員：予定にあるNPO市民フェスティバル実行委員会は開催時間が短いのではないか。
事務局：当日の直前にある地域デビュー交流会に引き続いてのものであるので短くなっている。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について
副委員長：前回の開催年の訂正をし、今週末までに意見がなければ確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1. 広報・PR事業について
事務局よりゆめこらぼのホームページ・リニューアル計画について説明があった。
委　員：スマホやタブレットにも対応するのか。
事務局：対応する。
副委員長：ITスキルを必要としないというのはどういうことか。
事務局：ホームページのコンテンツを更新する作業はスタッフが行うことになるが、特別なITスキルをもっていなくても作業できるようにするという意味である。
委　員：CMSとは何か。
事務局：以前はホームページを作るのにWEBのための言語であるHTML等の知識が必要だったが、CMSというコンテンツマネージメントシステムができて、それを使うとワープロ感覚で作成できるようになった。
委　員：市民の方へのQ&Aに対して、NPOでないとゆめこらぼに関わっていけないような感じがある。
事務局：現状もそのつもりではないが、NPOをどうとらえるか、広義か狭義か法人だけでなく、任意団体もイメージとしてはNPO市民活動団体である。
委　員：Q&A形式のコンテンツを設けるのはよいが、少し硬い印象がある。素朴な疑問から始めるのが良いのではないかと思う。
委　員：ゆめこらぼの登録団体も大半はNPO法人ではない。自分の団体もNPO法人化を考えていない。そういったことを前提にして欲しい。

委　員：NPO は必ずしも NPO 法人に限定されてはいないのではないか。NPO で NPO 法人と市民活動団体を表しても良いと思う。
委　員：市民活動団体の一員としては、NPO と表されることに違和感がある。登録団体の紹介ではどんな内容にするのか。
事務局：現行のホームページの内容とゆめこらぼ通信に掲載した団体紹介記事、団体紹介冊子の内容をベースに考えている。他に、団体の募集情報や機関紙も載せたいと考えている。
委　員：スタッフ紹介はどうするのか。
委　員：写真が難しければ、似顔絵でも載せた方がいい。
委　員：スタッフが載っている方が親しみやすくていい。
副委員長：登録団体が自らアップロードできるようにはしないのか。
事務局：現行のホームページではアップロードできるが、全くといっていいほど使われていない。ゆめこらぼのスタッフが代行して入力している。
副委員長：検討するようにして欲しい。
委　員：利用者を区分して掲載することの意味が分からない。ゆめこらぼとして協働を推進することが使命なのだから、協働の事例等を載せるべきだと思う。
事務局：協働の推進については、運営委員会でも目的ではなく手段ではないかという議論はあったが、事例については載せる方向で検討する。
委　員：企業の方へのメッセージは載せるべきだと思う。CSR や寄附につなげる方法を載せてはどうか。行政の方へについては、西東京市とその関連組織ということか。
事務局：行政の方へについては、そのように考えている。
委　員：行政の方へのところで協働の基本方針を載せるようにしているが、対象者別のところではなく、別項目として分けた方が良いように思う。
委　員：企業向けを是非入れて欲しい。
委　員：どんな検索キーワードでアクセスしているのか知りたい。関心に応じて、検討する必要があると思う。
事務局：次回までに調べておく。
委　員：潜在的な利用者に対する目線が抜けているように思う。地域デビュー講座の受講者は潜在的な利用者だと思うので、ヒアリング等で意向を確認したらどうかと思う。
副委員長：本件については、次回の仕様確定に向けて今回の意見を反映して仕様案を事務局で検討して欲しい

2.事業運営について

事務局より運営委員会の権能について説明があった。

委　員：本件を議題とすることを提案したのは、運営委員会の権能にあるセンターの業務執行に関する事項を運営委員会で議決することについて変更した方が良いのではないかと考えたからである。例えば、この条項に従って、講座等のチラシを運営委員会に事務局は付議しているようだが、その必要性について論議する必要があると思った。
委　員：西東京市社会福祉協議会（以下、社協）としては、どのように考えているのか。
事務局：社協としては、そこまでは考えていない。但し、過去に困った場面があったが、スタッフとして企画を進める必要がある段階にきており、修正が難しい場面において運営委員会で修正

を求められたことがあった。過度な負担になるので、次回以降に意見を反映するようにしていただければ助かる。

委　員：今年の例で言えば、リーフレットの改版等は運営委員会で議論すべきだと思うが、個々の企画は付議する必要はないと思う。

委　員：事務局として困っているのは、明確に議決していないことか。

事務局：事業計画及び予算、事業報告及び決算、事業評価、財政計画の 4 点は議決が必要である。

委　員：議決と書いてあるが、運営委員会として明確に議決しているように思えないこともある。事務局として問題はないのか。

事務局：会議録に議決した旨を明記する必要があるかも知れない。

副委員長：運営委員会設置規則を変更することは可能か。

事務局：適切な手続きを踏んで変更することになる。しかし、規則変更ではなく運営委員会においての共通認識で足りることと考えている。

事務局：事務局の負担としては、個人個人の発言が判るように会議録をとっているが、簡便化できないか検討して欲しい。

副委員長：次回、解釈を変更する場合の考え方の事務局案を提案して欲しい。

3. 来年度事業計画について

事務局より来年度事業計画の説明会の実施について説明があった。

委　員：できれば実施した方がいい。関心も高いのではないか。

委　員：開催すると団体にどんなメリットがあるのか、良く分からない。

委　員：参加する意思はなく、メリットを感じない。

委　員：何団体くらい参加するのか。

事務局：20 団体前後かと思う。

委　員：事業説明よりは意見交換に重心を置いてはどうか。

副委員長：行政は参加しないのか。

事務局：行政は参加しない。

委　員：せっかくなので実りのあるように実施したらどうか。

委　員：全国の 300 以上の中間支援組織のホームページを調査したのならば、ゆめこらぼが目指しているものなどアピールできることはないか。

副委員長：意見を踏まえて、開催の有無も事務局に一任することにしたい。

事務局：特段の強い要望もないようなので、実施しないことにする。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：3 月 15 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル 3 階　第 1、2 会議室